

重要文化財・正福寺大日如来像寺外初公開

滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展 滋賀県立美術館常設展

千年の秘仏と近江の情景

2023年
10月7日(土) - 11月19日(日)

開館時間…9時30分～17時(入館は閉館30分前まで)

休館日…毎週月曜日 ※10月9日(月・祝)は開館、翌10日(火)は休館

観覧料…一般540円(430円) 高・大生320円(260円)

※○内は20名以上の団体料金

※お支払いは現金のみ

※毎週日曜日は「木の家専門店谷口工務店フリーサンデー」のため無料

※中学生以下、滋賀県内居住の65歳以上、身体障害者手帳等をお持ちの方は無料

主催…滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県立美術館
特別協力…正福寺・善水寺



Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

写真 大日如来坐像(重文・正福寺)

千年の秘仏と

近江の情景

滋賀県は、県域全体に貴重な文化財が散在する全国有数の文化財集中県です。深い山と豊かな水をたたえる琵琶湖が織りなす美しい自然景観の中に、時には千年以上の歴史を刻む文化財が、地域の方々に守られ受け継がれてきました。

本展では琵琶湖文化館がお預かりしているこれら貴重な文化財の中から、湖南市の名刹正福寺の仏像を中心として、豊かな文化を育んできた滋賀の情景をあらわした作品を滋賀県立美術館のコレクションとともに展示します。

特に正福寺の本尊大日如来坐像（重要文化財）は国内最古級の胎藏界大目如来像で、貴重な秘仏のためその公開は三十三年ぶり、寺外では初の公開となります。そして、この度は正福寺大目如来像と非常に近い関係にあると考えられる湖南市・善水寺の不動明王坐像（重要文化財）を特別出展します。本展ではこの二像を中心に湖南地域の歴史の奥深さを追求します。

また、近江国は都からほど近い風光明媚な地として、さらには比叡山を中心とした一大仏教圏として、古くからその風景があらわされてきました。本展では、これらの仏像に加え、両館から近江の風景や祭りなどの風土を描いた作品を展示し、千年を越える仏と悠久の滋賀の情景の競演を実現します。

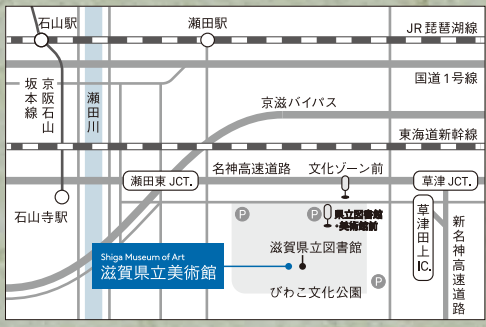


滋賀県立琵琶湖文化館は、全国でも有数の質と量を誇る資料を収集し、展示公開してきました。平成20年より休館しておりますが、滋賀県内各地にゆかりのある収蔵品に親しみ、滋賀の文化の豊かさを再確認していただくための「地域連携企画展」を開催しています。

写真
 (上) 近江八景図部分（横山華山筆・滋賀県立美術館）
 (下) 近江名所図部分（重文・滋賀県立美術館）
 (右) 不動明王坐像（重文・善水寺）
 (左) 十一面観音立像（重文・正福寺）
 (切抜) 鍋冠祭図部分（蹄斎北馬筆・滋賀県立美術館）

関連イベント

- ①文化館 & 美術館 学芸員ギャラリートーク
10月18日（水）14:00～15:00
※参加自由、要観覧料
- ②たいけんびじゅつかん
11月12日（日）13:00～15:30
小中学生と保護者が対象のワークショップ
※要予約、要参加費、10月1日より募集開始
- ③滋賀の文化講座「花湖さんの打出のコツチ」
「千年の秘仏と近江の情景」展を楽しむ
11月16日（木）14:00～15:30
※要予約、要観覧料、10月27日より募集開始



公共交通機関を利用の場合
 JR琵琶湖線（東海道本線）「瀬田駅」（京都駅から約17分）（京阪電車は「京阪石山駅」からJR乗り換え）下車、「大学病院前」行きのバスに乗車（約10分）、「県立図書館・美術館前」。
 または「文化ゾーン前」下車（便によって停車するバス停が異なります）、美術館まで徒歩約5分。
 お車をご利用の場合
 名神・新名神高速道路「草津田上インター」から約5分
 ※なるべく公共交通機関をご利用ください。
 ※お体の不自由な方は、びわこ文化公園東駐車場の有人ゲートからお車を乗り入れて、美術館までお越しいただけます。

申し込み方法等については、①②は美術館 HP、③は文化館 HP (<http://www.biwakobunkakan.jp/>) をご覧ください。